

集え！夢の実現に向けて

育英友の会理事長 曾我部國久

育英友の会の広報誌としてその年ごとの主だった活動やニュースを伝えてきたこの会報が、創刊以来号数を重ね、記念すべき「100 号」という偉業を達成することとなりました。

日本ボランティア活動の歴史の中で会報が 100 号を迎えることは特筆すべきことで、非常に誇りに感じます。このような節目の記念号に友の会の理事長として巻頭を飾る機会を得たことを身に余る光栄に感じます。

今年 2004 年は奇しくも 1943 年に創立され、昨年 10 月に創立 60 周年を迎えた「日本育英会」が組織改革により独立法人「日本学生支援機構」として新たなスタートを切った記念すべき年となりました。このような時期に 100 号が発行されるというのも何か因縁めいたものを感じずにはられません。



しかし嘆いてばかりはいられません。日本育英会が敗戦濃厚な時期に創立され、また友の会も戦後の復興の中で設立されたことを考えると、今が正に新しい友の会として、活動の継続、拡大を図らなければいけない時期ではないでしょうか。

友の会の今後の方向性を考えるとき、そのキーワードに“ボランティア”を据え、いかに自分が他人のため、社会のために働けるかを考えるというのはいかがでしょうか。

日本育英会の奨学金を受けた者達で立ち上げ、育英会と共に歩み、育てられて来た「育英友の会」も、ここに来て大きな転機を迎えることになりました。新機構が日本中の全ての学生の生活全般にわたった支援を行うことになった関係上、今まで、“奨学生”をキーワードに活動を展開してきた我々友の会の活動も方向転換を余儀なくされるのではないかと感じております。例えば友の会の大きな活動の柱である“奨学生の集い”にしても、形式的には一般学生や留学生を巻き込んだ“学生の集い”とせざるを得なくなるでしょう。

また今まで友の会の活動に対して人的、空間的な支援をしてきていた日本育英会という組織がなくなったことから事務局業務をどうするかという問題もありますし、活動資金の確保の点でも多くの困難に直面しております。

過去の活動の実績にたって新しい活動に踏み出し、数年あるいは数十年後には社会的に高い評価を得ている。それこそ友の会としての夢ではないでしょうか。

今こそ皆の英知を結集して新しい夢に向かって志を新たにし、新生友の会の発展に参画しようではありませんか。

この 100 号記念誌が、新しい友の会の創刊号としての意義を持つことを祈念してやみません。



育英友の会 Q&A のページ

育英友の会の広報誌としてのこの会報も号数を重ね、今回でちょうど100号の節目を迎えることになりました。

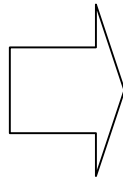
時期を同じくして、これまで60年間日本の育英奨学事業の中核を担ってきた日本育英会も改組され、密接な関係を保ってきた育英友の会の活動も大きな変革を迫られております。

そこでこのページでは育英友の会に関する基本的な事項を、Q&A形式でまとめてみました。

内容としては一部しか説明できておりませんが、育英友の会についての理解を深め、今後皆さんが活動を行っていく上での参考になれば幸いです。

Q1;育英友の会とは日本育英会の下部組織ですか

もしそうであれば、日本育英会の改組に伴って組織としてはどうなるのですか

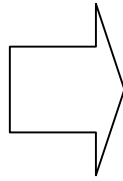


A1;育英友の会と日本育英会とは別の組織です

育英友の会は日本育英会奨学生のOB・OGが集まって結成した任意団体であり、日本育英会の一部ではありません。

※日本育英会は今年3月末をもって解散し、その事業は日本学生支援機構に引き継がれましたが、育英友の会は従来どおりの活動を行っていく予定です。

Q2;育英友の会ではどのような内容の活動を行っているのですか



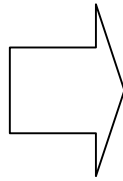
A2;次のような目的のための活動を行っています。

1. 学生・生徒の学業継続支援に関する事業
2. 講演会・研究会等による親交・研修の事業
3. 宿泊・集会施設の設置等福利厚生に関する事業
4. その他、会員同士の親睦のための活動

※本号でも紹介している奨学生の集いを主管し、実行しているのは育英友の会です。

また全国で数十の宿泊施設と契約し、割安で安心して泊まれる宿泊施設として提供しています。

Q3;入会資格と会費について教えてください

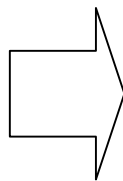


A3;だれでも入会できます

日本育英会（日本学生支援機構）の奨学金の貸与を受けた人が中心ですが、本会の趣旨に賛同して所定の会費を納入すれば、だれでも入会できます。

※従来の終身会費制（連絡費を除いて1,000円）から、年会費制（1年間2千円）に変わりました。

Q4;育英友の会では何人くらいの職員が働いているのですか



A4;育英友の会専属の職員はひとりもいません

育英友の会の活動は基本的に会員のボランティア精神によって成り立っています。

※育英友の会の仕事をするによって生計を維持している者は、ひとりもおられません。

2004年度「奨学生の集い」を開催

日本学生支援機構発足記念2004年度「奨学生の集い」を、全国6地区で開催しました。

- | | | |
|------------|--------------------|-----------------|
| ・北海道・東北地区 | 日程；8月6日（金）～8日（日） | 会場；岩手県立県南青年の家 |
| ・関東地区 | 日程；8月14日（土）～16日（月） | 会場；国立赤城青年の家 |
| ・東海地区 | 日程；8月11日（水）～13日（金） | 会場；愛知県立美浜少年自然の家 |
| ・近畿地区 | 日程；8月15日（日）～17日（火） | 会場；国立淡路青年の家 |
| ・中国地区 | 日程；8月6日（金）～8日（日） | 会場；国立吉備少年自然の家 |
| ・九州地区（沖縄含） | 日程；8月13日（金）～15日（日） | 会場；国立阿蘇青年の家 |

参加者から寄せられた感想文を、ごく一部ではありますがご紹介します。

「集い」から帰ってきて

（関東地区）東洋大学 竹達英司

この集いの良い所は、みんな所属する学校や学科、興味のあることもバラバラな同年代の友達と、一度にたくさん出逢えるという所です。僕の知らない世界の話をとくさん聴けます。

だから僕も自分はどんな人なのかをちゃんと説明したくて、普段から思っていたこと、また普段あまり考えなかったようなことをごく自然に言い出せる空気、これが最高でした！！

今、集いから帰ってきて、自分とは違う環境にいる人とたくさん出逢って相手のことを知りたいと思うことで、僕自身の「自分らしさ」も深まったように思えます。そしてまた、これから先にあるたくさんのお出逢いに自分を賭けてみたいという気持ちも強くなりました。決して排他的にはならず、普段の生活から小さな出逢いを大切に、僕の中に潜んでいた劣等感ともうまく付き合っていけそうな気がします！

赤城での三日間という限られた時間ではあったけれど、これからの僕の人生に何かしら良い影響を与えたことは間違いありません。本当にありがとうございました。

出逢った全ての人に、ありがとうと言いたいです！

「集いの思い出」

（東海地区）1班 今永典秀

私は、この集いに大学3年生のときにはじめて参加し、今回が2回目の参加であった。そして、この2回参加したことで私は1つのことを悟ったような気がする。それは、「声に出して他の人たちに自分の夢や目標を言うことによって、自らが頑張ろうとすることができる」ということでした。

去年参加した時から今年参加するまでの1年間で、私は以前とは違う、一回り大きな自分になったと宣言することができます。たった3日間の生活であるにも関わらず、多くの人と会い、自分の思いを語る、すごい密度の濃い3日間だったと思います。私に限らず、この3日間が、その人の学生生活のターニングポイントになった人は、たくさんいるのではないのでしょうか？

最後になりましたが、この集いを通して接することができた素敵な友人たちと、そして裏方として長い時間をかけて準備をいただいた実行委員の方に感謝したいと思います。



各支部ホームページアドレス

北海道支部	http://plaza2.mbn.or.jp/~Section_G/ikuei/index.html
東北支部	http://www5b.biglobe.ne.jp/~kudotaku/index.htm
関東支部	http://itomo.sakura.ne.jp/
東海支部	http://www3.tokai.or.jp/andog-anvitz/
北信越支部	http://www.nice-tv.jp/~t-y0921/
近畿支部	http://www004.upp.so-net.ne.jp/ikinki
中国支部	http://www14.plala.or.jp/matsukawa/tomonokai/index.html
四国支部	http://www015.upp.so-net.ne.jp/ikuei-s/
九州支部	http://ww5.enjoy.ne.jp/~aimi-h/kyushu.html

育英友の会ホームページ <http://www2u.biglobe.ne.jp/~itomo/index.htm>

2004年度大会開催

2004年5月22日（土）～23日（日）、日本学生支援機構市谷事務所において大会が開催されました

2003年度活動・決算報告

1. 総務関係
 - (1) 日本育英会創立 60 周年記念パーティーに招待を受け、1 名出席
 - (2) 入会状況について
 - (3) 日本学生支援機構について
2. 事業関係
 - (1) 入学支度金融資の返還状況について
 - (2) 日本育英会「国際交流フォーラム」
 - (3) 2003 年度「奨学生の集い」を実施
3. 広報関係
 - (1) 会報発行 98 号（春） 99 号（秋）
 - (2) 宿泊施設契約状況について
4. 財務関係

2003 年度予算決算報告

2004 年度活動計画

1. 総務関係
 - (1) 規約・規程等の改正について
 - (2) 役員の改選と方法について
2. 事業関係
 - (1) 2004 年度「奨学生の集い」実施方針
 - (2) 入学支度金融資休止に伴う後処理
3. 広報関係
 - (1) 会報及び支部報の発行について
 - (2) ウェブページの活用
 - (3) 宿泊施設との契約
4. 財務関係
 - (1) 2004 年度予算編成方針案
 - (2) 2004 年度支部配分金査定基準

※年会費制の導入を柱とする規約の改正と役員定数に関する規程の改正を決定

育英友の会ホームページ

育英友の会の情報を満載したホームページをオープンしています。活動の情報源にご利用下さい。

<http://www2u.biglobe.ne.jp/~itomo/index.htm>

またこの他に、各支部でホームページを開設しています。そちらもご覧ください。（3 面下段参照）

住所氏名の変更について

最近、「会報」が宛先不明で返送されてくるケースが増えています。皆様のお手元まで「会報」を正確にお届けするため、以下の場合には、すみやかにご連絡ください。

- ・転居をされる場合
- ・改姓をされる場合
- ・封筒表記の住所が正しくない場合

右の変更届をコピーして、ハガキ等に貼付のうえ、下記まで郵送願います。

〒162-8412

東京都新宿区市谷本村町 10-7

日本学生支援機構政策・広報室広報課内

育英友の会事務局

住所氏名変更届

氏名 (旧姓)	
旧住所	〒 TEL ()
新住所	〒 TEL ()